

ニューガラスフォーラムつくば研究室紹介

(株)ニューガラスフォーラム

松田 弘一

Report on the Tsukuba Research Laboratory of NGF

Koichi Matsuda

New Glass Forum

1. 始めに

平成 18 年 7 月より NEDO から委託を受けた「三次元光デバイス高効率製造技術」プロジェクトの 5 年間に亘る研究開発を NGF のつくば研究室で開始しましたので、まずは、この研究室を皆様方にご紹介したいと思います。なお、本プロジェクトの概要は、平成 18 年の当機関誌 12 月号 (No. 83) で紹介しているので参考にして下さい。また、研究の進捗状況等については、当機関誌の来年 3 月号以降で連続連載する予定です。

2. NGF つくば研究室の概要

本つくば研究室は、つくば研究学園都市内の「つくば市東光台研究団地」の一角に位置する「株式会社筑波研究コンソーシアム」のパイロット棟 (写真 1, 2) の 3 階のスペースを賃借して開設しています。この辺りは、非常に静かで、周辺には浜松ホトニクス(株)、ULVAC(株)、インテルジャパン(株)、スタンレー電気(株)、日本油脂(株)、エーザイ(株)、日本板硝子(株)の研究所が



写真 1 パイロット棟外観

あり、研究開発には最適な環境にあると思います。また 2005 年 8 月につくばエクスプレス (TX) が開通し、都心からの交通の便も秋葉原駅から研究学園駅まで区間快速で 50 分です。次いで、研究学園駅から(株)筑波研究コンソーシアムまではバスで約 10 分、タクシーで約 5 分と、以前 (JR 常磐線荒川沖駅) からタクシーで 30 分位) に比べると非常に良くなりました。場所的には研究学園駅から北 1.5 km の位置にあります。ただ、今のところまだバスの本数が少ないため、研究員の方で研究学園駅から自転車で通っておられる「つわもの」が若干 1 名います。

駅からコンソーシアムまで歩いて 30 から 40



写真2 空から見た筑波研究コンソーシアム



写真3 研究員居室用通路のプロジェクト展示物

分ぐらいだそうですので、健脚の方は、天気の良い日は大汗をかくことは間違いないですが、一度トライされては。

このパイロット棟の玄関から室内履きに履き替えてエレベータで3階に上がり、通路を左、左と曲がり、突き当たりに向かって進んでいくとNGFのつくば研究室があります。

つくば研究室のトータル面積は500 m²弱で、大きく分けると研究員の居室（一部作業室兼輪講室）（写真3）と3つの実験室から成り

立っています。実験室には、主力研究開発装置であるフェムト秒レーザー（写真4）や電子線描画装置（写真5）等が設置されており、当フォーラムの会員会社5社から当研究室に向研究している研究者と当フォーラム採用の研究者が、集中研究しています。

まだつくば研究室に来られていない方は是非お越し下さい。田中室長や熱気あふれる研究員達がいろいろ本プロジェクトの内容、成果等を懇切丁寧に説明してくれること請け合いです。



写真4 フェムト秒レーザー



写真5 電子線描画装置